

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【公表番号】特表2015-536950(P2015-536950A)

【公表日】平成27年12月24日 (2015.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-081

【出願番号】特願2015-540834(P2015-540834)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 9/99 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 35/02

A 6 1 K 31/519

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/00

A 6 1 P 31/00

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 9/99

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月20日 (2016.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イブルチニブと、

B c l - 2 阻害剤、カーフィルゾミブ、A K T 阻害剤、E r k 阻害剤、c - M e t 阻害剤、脱メチル化酵素阻害剤、A K T / P K B 阻害剤、B R A F 阻害剤、C C R 2 阻害剤、C X C R 4 阻害剤、D N A 二本鎖切断修復阻害剤、および、抗 V E G F 抗体から選択される追加の薬剤とを含む、医薬組成物。

【請求項 2】

B c l - 2 阻害剤、カーフィルゾミブ、A K T 阻害剤、E r k 阻害剤、c - M e t 阻害剤、脱メチル化酵素阻害剤、A K T / P K B 阻害剤、B R A F 阻害剤、C C R 2 阻害剤、C X C R 4 阻害剤、D N A 二本鎖切断修復阻害剤、および、抗 V E G F 抗体から選択され

る追加の薬剤とともに使用される製剤の製造におけるイブルチニブの使用。

【請求項 3】

製剤は B c 1 - 2 阻害剤とともに使用される、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

製剤はカーフィルゾミブとともに使用される、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 5】

癌を有する対象において T h 1 : T h 2 バイオマーカー比を増加させるための、有効量の共有結合型 T E C ファミリーキナーゼ阻害剤を含む医薬組成物であって、

癌は、T h 1 応答が抑制されかつ T h 2 応答が増強されるバイオマーカープロファイルを特徴とする、医薬組成物。

【請求項 6】

前記 T h 2 バイオマーカーが、I L - 1 0、I L - 4、I L - 1 3、又はこれらの組み合わせの中から選択される、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記 T h 1 バイオマーカーが、I F N - 、I L - 2、I L - 1 2、又はそれらの組み合わせの中から選択される、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記共有結合型 T E C ファミリーキナーゼ阻害剤がイブルチニブである、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

第 1 の抗癌療法による治療後に T 細胞悪性腫瘍を有する対象を治療して、再発性又は難治性疾患を予防し、そのリスクを低減させ、又はそれらを遅延させるための治療有効量のイブルチニブを含む医薬組成物であって、前記第 1 の抗癌療法がイブルチニブを含まない、医薬組成物。

【請求項 1 0】

前記 T 細胞悪性腫瘍が、非特定型末梢性 T 細胞リンパ腫 (P T C L - N O S)、未分化大細胞リンパ腫、血管免疫芽球性リンパ腫、皮膚 T 細胞リンパ腫、成人 T 細胞白血病 / リンパ腫 (A T L L)、芽球性 N K 細胞リンパ腫、腸疾患型 T 細胞リンパ腫、脾臓 - T 細胞リンパ腫、リンパ芽球性リンパ腫、鼻 N K / T 細胞リンパ腫、又は治療関連 T 細胞リンパ腫である、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 1】

T h 2 介在性疾患又は障害を有する対象を治療するために治療有効量のイブルチニブを含む、医薬組成物。

【請求項 1 2】

対象において T h 1 : T h 2 バイオマーカー比を増加させることにより、前記対象において癌を治療するための製剤の製造におけるイブルチニブの使用であって、癌は、T h 1 応答が抑制されかつ T h 2 応答が増強されるバイオマーカープロファイルを特徴とする、使用。

【請求項 1 3】

第 1 の抗癌療法による治療後に T 細胞悪性腫瘍を有する対象を治療するための製剤の製造におけるイブルチニブの使用であって、前記第 1 の抗癌療法がイブルチニブの投与を含まない、使用。

【請求項 1 4】

前記 T 細胞悪性腫瘍が、非特定型末梢性 T 細胞リンパ腫 (P T C L - N O S)、未分化大細胞リンパ腫、血管免疫芽球性リンパ腫、皮膚 T 細胞リンパ腫、成人 T 細胞白血病 / リンパ腫 (A T L L)、芽球性 N K 細胞リンパ腫、腸疾患型 T 細胞リンパ腫、脾臓 - T 細胞リンパ腫、リンパ芽球性リンパ腫、鼻 N K / T 細胞リンパ腫、又は治療関連 T 細胞リンパ腫である、請求項 1 3 に記載の使用。

【請求項 1 5】

製剤は追加の化学療法剤または生物由来物質とともに使用されるものである、請求項 1

2 乃至 14 のいずれか 1 つに記載の使用。